

難民への日本語教育を俯瞰する

多文化共生社会日本への「理解を深める講座」

【各団体（個人）からの実践の報告】

- **難民事業本部（RHQ） 小瀧 雅子さん**
難民認定者に対する公的支援としての日本語教育
- **さぼうと 2 1 矢崎 理恵**
定住難民の生活力向上を目指した日本語教育
- **難民支援協会（JAR） 寺畑 文絵さん**
就労支援の一環としての日本語教育
- **伴野 崇生さん**
個人として関わる 就労・生活のための日本語教育
- **カトリック東京国際センター（CTIC） 新井 協子さん、向井 園子さん**
難民の居場所としての日本語教室
- **PEACE 寄田 恭直さん、マリッポ・センブさん、宗田 勝也さん**
難民当事者が主催する日本語教室
- **日本国際社会事業団（ISSJ） 石川 美絵子さん、富田 京子さん**
社会統合促進のためのムスリム系難民に対する日本語教育

【登壇者によるパネルディスカッション】

テーマ「難民に対する日本語教育のこれから」

ファシリテーター 松尾 慎さん

日本に定住する難民にとって、日本語習得は「教育を受けるため」「仕事をするため」「地域社会の一員として生活するため」に欠かせない要素です。現在、日本国内で行われている難民に対する日本語教育を俯瞰し、現状を改めて確認することから、今後の難民に対する日本語教育のあり方について考えていきたいと思います。

■日時：2017 年 12 月 17 日（日）13 時～16 時 30 分

■会場：社会福祉法人さぼうと 2 1 6 階会議室



主催：社会福祉法人 さぼうと 2 1

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル 6 階

TEL: 03-5449-1331 FAX: 03-5449-1332 E-mail: kensyu@support21.or.jp

さぼうと 2 1 は、日本で生活する難民、中国帰国者、日系定住者とその子弟の定住と自立に向けた支援を行う団体です。

【講師・ファシリテーターのご紹介・スケジュール】※登壇順で以下記載（敬称略）

13:20～ 公益財団法人アジア福祉教育財団 難民事業本部（RHQ）

こ だ き ま さ こ
小 瀧 雅 子 （公財）アジア福祉教育財団難民事業本部日本語教育監督者・
（公社）国際日本語普及協会 AJALT 常務理事

70年代後半の西アフリカ。初めての海外生活にめげていた私に生きる力を身をもって示してくれたインドシナ難民のご家族との出会いが、難民の皆さんとのお付き合いの原点です。2001年AJALTに入会、2006年以来難民事業本部RHQ支援センター講師、主任講師、2016年より現職として公的な難民教育に携わってきました。同時に修了生や認定者以外の人も対象にした継続的な教室をAJALTの文化庁委嘱事業として担当しています。

13:40～ 社会福祉法人さぼうと21

や ざ き り え
矢 崎 理 恵 さぼうと21学習支援室コーディネーター・日本語教師

大学で日本語教育を専攻し、卒業と同時に青年海外協力隊参加、フィリピン外務研修所で日本語講師を務める。帰国後、主に日本語学校で予備教育の日本語教育に関わる。10年ほど前、思うところあって、自分の身近に生活者として暮らす外国出身者への日本語教育にシフトチェンジ。教壇に立つことより仕掛けや仕組みを考え、実行することを好む。モットーは「OPEN & SHARE」。

14:00～ 認定NPO法人難民支援協会（JAR）

て ら は た ふ み え
寺 畑 文 絵 JAR 定住支援部 就労支援担当

2015年11月より現職。就職を目指す難民へのカウンセリングや就労前トレーニング、企業とのマッチングを行うジョブフェア運営等を担当している。

14:20～

と も の た か お
伴 野 崇 生 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任講師

難民支援協会主催の難民アシスタント養成講座受講をきっかけに難民支援ボランティアを開始。現在、複数のNPOでボランティアを行いながら、個人としても日本在住の難民に関わる。大学では、多言語・多文化共生に関わる複数のトピック（言語学習・教育、マジョリティの変容、防災・減災、メンタルヘルスなど）について教育、研究、環境整備を行なっている。香港中文大学SCS専任講師などを経て、現在、慶應義塾大学特任講師。2016年度より多文化共生社会における日本語教育研究会幹事。

14:50～ カトリック東京国際センター（CTIC）

あ ら い き ょ う こ
新 井 協 子 CTIC 日本語ボランティア講師

元聖心インターナショナルスクール日本語教師、2012年よりCTICボランティア講師

む か い そ の こ
向 井 園 子 CTIC 日本語ボランティア講師

（元）国際交流基金日本語国際センター専任講師
専門分野：日本語教師研修、教材制作など

15:10～ NPO 法人 PEACE

よりた やすなお
寄田 恭直 日本語教師

1978 年生まれ、神奈川県川崎市出身。2013 年 1 月から 6 月まで「さぼうと 21」でボランティア講師を務めた後、2013 年 7 月より東京の日本語学校で日本語教師デビュー。現在は、千葉県の専門学校で専任講師として外国人留学生に日本語を教えている。2014 年 4 月から始まった「NPO PEACE 日本語教室」の講師を担当して今年で 4 年目になる。趣味は運動でスポーツジムに通いながら、定期的に市民マラソンに参加している。

マリッパ・センブ PEACE 理事長

2003 年にカチン女性協会日本設立（コーディネーター）、2005 年にカチン民族機構日本を設立（事務局長）、2008 年に難民連携委員会日本設立（事務局長）、2012 年に特定非営利活動法人 PEACE 設立（理事長）。2012 年から、新宿区多文化共生まちづくり会議委員。

そうだ かつや
宗田 勝也 PEACE 事務局長

2004 年、情報発信による難民支援を目的に「難民ナウ！」設立。「難民問題を天気予報のように」をコンセプトにした難民問題専門情報番組「難民ナウ！」を制作。2017 年より同志社大学客員准教授。龍谷大学、神戸親和女子大学など非常勤講師。

15:30～ 社会福祉法人日本国際社会事業団（ISSJ）

いしかわ みえこ
石川 美絵子 常務理事

津田塾大学 学芸学部 国際関係学科卒業。民間企業に勤務する傍らアムネスティ・インターナショナル日本で難民支援ボランティアを始める。2010 年よりソーシャルワーカーとして ISSJ に勤務。日本社会事業大学養成過程を経て、社会福祉士の資格を取得。2013 年から 2014 年まで「第 6 次出入国管理政策懇談会 難民認定制度に関する専門部会」の委員を務めた。2016 年より事務局長となり、2017 年に常務理事に就任した。

とみた きょうこ
富田 京子 日本語講師

留学生への日本語教育を皮切りに、最近は主に就労希望の外国人、日本定住を希望する外国人の方々に長年日本語指導を行っています。来日の背景、国籍、年齢は様々ですが、「日本語を必要とし、身に着けたい」という点ではみな様です。「日本語で表現できたら・・・」との歯がゆい思いを何度重ねたことでしょうか。そのような外国人の方々の一助になりたいという思いで今まで、そしてこれからも日本語指導をおこなってまいりたいと思っております。

15:50～ パネルディスカッション

まつお しん
松尾 慎 東京女子大学現代教養学部教授・Villa Education Center ファシリテーター

東京女子大学現代教養学部教授。専門は、日本語教育、多元文化教育など。ブラジル、インドネシア、台湾で日本語教育に携わり、2009 年より現在の職場に勤務。日本語教員養成課程などを担当。2014 年 6 月に難民当事者とともに難民の日本語教室・活動（Villa Education Center）を立ち上げ、毎週日曜日、大学院生や修了生、学部生とともに活動を継続中です。先日 150 回目を達成しました。行けるところにはどこにでも自転車で行きます。また、野球オタクです。

社会福祉法人 さぼうと21 <http://www.support21.or.jp>

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル 6階

Tel. 03-5449-1331 Fax. 03-5449-1332 [E-mail] kensyu@support21.or.jp